

基本情報

科目分類	専門科目	開講年次	2・3・4年
時間割コード	4J073	開講区分	集中
開講科目名	プログラム講義EUエキスパート人材養成 特別講義	曜日・時限	他
主担当教員	Stephen DAY	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>欧州連合（EU）の歴史的展開と現状に関する基礎的な知識を学ぶ 授業である。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>本講義の到達目標は、学生に以下の事項について基礎的な知識を身に付け、これらについて英語で議論できることとなることである：1）欧州連合(EU)の歴史的展開及び現状、2）英国がEU離脱（BREXIT）に至った主たる要因と、離脱の条件に関する複雑な交渉経緯。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>第1回～第3回（関根担当）：英語で行われる第4回～第7回の講義（Day教授担当）の準備として、EUの歴史的展開・現状について日本語で講義する。</p> <p>第4回～第5回（Day担当）：「EUとは何か？」なぜ発足し、欧州統合のプロセスの主たる特徴は何か？2018年に至るEUの現状は何か、そして加盟国内の選挙がEUの現在の発展にどのように影響しているか？</p> <p>第6回～第7回（Day担当）：「BREXITを理解する」イギリスとEUの関係について、歴史的観点、現代的観点から学ぶ。「欧州懐疑主義」とはなぜ生まれたのか、なぜイギリスの有権者は僅差で「EU離脱」を選択したのか、EU離脱に向けた交渉の現状はどうなのか？</p> <p>第8回（関根担当）：試験（筆記）</p>
<p>■ 成績評価方法</p> <p>授業中の参加貢献：60% 筆記試験：40%</p>
<p>■ 成績評価基準</p> <p>授業中の参加貢献は、授業中の質問への回答、及び議論への参加貢献に基づき評価する。</p> <p>筆記試験は英語で行われ、講義で扱われた事項に関する基礎的な理解の度合いを確認し、これに基づき評価を行う。</p>
<p>■ 履修上の注意（関連科目情報）</p> <p>授業回数は多くないため、基本的に全回への出席を原則とする。正当な理由のある欠席であっても、1回程度に留</p>

めること。

■ 事前・事後学修

参考書（以下参照）の該当部分を事前に読んでおくことが望ましい。

■ 学生へのメッセージ

■ 教科書

■ 参考書・参考資料等

EUとは何か(第2版)—国家ではない未来の形 (現代選書29) / 中村民雄：信山社，2016 ,ISBN:978-4797236262

■ 授業における使用言語

日本語及び英語の併用

■ キーワード

欧州連合（EU）、欧州統合、BREXIT、EU離脱

■ 参考URL

担当教員一覧

教員	所属
関根 由紀	法学研究科
Stephen DAY	法学研究科